

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公開番号】特開2005-174481(P2005-174481A)

【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2005-025

【出願番号】特願2003-414109(P2003-414109)

【国際特許分類】

G 11 B 7/09 (2006.01)

G 11 B 7/0045 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/09 A

G 11 B 7/0045 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーザ光を照射することで光ディスクに情報を記録する光ディスク装置であって、前記光ディスクにレーザ光を照射するレーザと、

前記光ディスクからの反射光に基づいてサーボ信号を検出するサーボ信号検出手段と、を具備しており、

前記サーボ信号検出手段は、前記レーザが記録パワーのレーザ光を照射している期間の反射光に基づいてサーボ信号を検出することを特徴とする光ディスク装置。

【請求項2】

請求項1に記載の光ディスク装置において、

さらに、前記サーボ信号検出手段への入力信号をピークホールドするピークホールド手段を具備しており、

前記ピークホールド手段は、前記レーザが記録パワーのレーザ光を照射している期間の反射光に基づく信号をピークホールドし、

前記サーボ信号検出手段は、前記ピークホールドされた信号に基づいてサーボ信号を検出することを特徴とする光ディスク装置。

【請求項3】

レーザ光を照射することで光ディスクに情報を記録する光ディスク装置であって、

前記光ディスクにレーザ光を照射するレーザと、

前記光ディスクからの反射光量に基づいて暗欠陥、明欠陥等のディスク異常を検出するディスク異常検出手段と、

を具備しており、

前記ディスク異常検出手段は、前記レーザが記録パワーのレーザ光を照射している期間の反射光量に基づいてディスク異常を検出することを特徴とする光ディスク装置。

【請求項4】

請求項3に記載の光ディスク装置において、

さらに、前記ディスク異常検出手段への入力信号をピークホールドするピークホールド手段を具備しており、

前記ピークホールド手段は、前記レーザが記録パワーのレーザ光を照射している期間の反射光に基づく信号をピークホールドし、

前記ディスク異常検出手段は、前記ピークホールドされた信号に基づいてディスク異常を検出することを特徴とする光ディスク装置。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 に記載の光ディスク装置であって、

さらに、前記光ディスクからの反射光に基づいてサーボ信号を検出するサーボ信号検出手段を具備しており、

前記異常検出手段によりディスク異常が検出されたときには、前記サーボ信号検出手段は、ディスク異常が検出される直前またはディスク異常が検出された直後の値をホールドした値のサーボ信号を出力することを特徴とする光ディスク装置。

【請求項 6】

請求項 3 または 4 に記載の光ディスク装置であって、

前記異常検出手段によりディスク異常が検出されたときには、前記レーザは、ディスク異常が検出される直前のレーザ光照射パワーを維持することを特徴とする光ディスク装置。

【請求項 7】

レーザ光を照射することで光ディスクに情報を記録する光ディスク装置で用いられるサーボ信号検出方法であって、

前記レーザが記録パワーのレーザ光を照射している期間の反射光に基づいてサーボ信号を検出することを特徴とするサーボ信号検出方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のサーボ信号検出方法において、

前記レーザが記録パワーのレーザ光を照射している期間にピークホールドした反射光に基づいてサーボ信号を検出することを特徴とするサーボ信号検出方法。